

- (1) ねらい 説明どおりに動く馬のおもちゃを作るために、筆者が用いた説明の工夫を見つける活動を通して、事柄の順序に沿った正確な文章は読み手にとって理解しやすいことに気付き、自分の文章に生かそうとすることができる。
- (2) 評価規準 説明の工夫の必要性を感じながら、「まとめり」、「順序」、「写真」、「数字」のキーワードを自分の文章に生かそうとしている。(思考・判断・表現)
- (3) 学習展開 (6/14)

過程	学習活動	教師の指導・援助(留意点)
導入	1 前回の学習を振り返る。 ・ 前は「まとめり」で書くという説明の工夫を見つけた。 ・ 「まとめり」で書くだけでは、「せつメイ人」にはなれない。 ・ 他に「順序」、「写真」、「数字」の説明の工夫があった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「せつメイ人」になるための工夫を問いかけた際、追究したい工夫は児童によって異なることが予想される。それぞれが追究したい工夫を選ぶことで学ぶ意欲を高めることへとつなげる。また、「1年生におもちゃを紹介する」ために1年生にも分かりやすい文章を書きたいという児童の意欲を本時の課題へとつなげる。</li> </ul>
	2 追究したいことを明確にする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">共通する問い：その工夫は「馬のおもちゃ」のどこに使われているかな？</div>	
展開	3 課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">せいかくに馬のおもちゃをつくるためのせつめいのくふうを見つけよう。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">【ICT活用の工夫】</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>配付機能によって配付されたノートに、児童はどの課題を選んだか分かるように色を付ける。それを大型提示装置に映し出すことで、同じ課題をもった仲間が誰なのか全体に示すことができ、児童が練り合う相手を選ぶ際の参考にすることができる。</li> </ul>
	4 自分の課題を意識しながら、個人で全文を音読する。 5 課題の追究を行う。 個人追究→ペア交流→全体交流 ・ 「順序」で工夫を追う→「まず」、「次に」、「それから」などの順序を表す言葉が使っているから、何からやればいいのか分かりやすい。 ・ 「写真」で工夫を追う→写真(p.41)があると、「四つに切り出しましょう。」の意味が分かりやすくなった。写真がないと「つかわないところ」があることに気付かなかったと思う。 ・ 「数字」で工夫を追う→「ニセンチメートルおりまげます。」(p.43)のところで、どれだけ折るか分かった。長さが分かったから、完成したおもちゃがしっかり立った。	
終末	6 学習をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「まとめり」、「じゅんじょ」、「しゃしん」、「数字」に気をつけてせつめいすると、せいかくに馬のおもちゃをつくることことができる。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">【ICT活用の工夫】</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人追究の際に配付機能を活用して、本文を貼り付けたノートを配付する。そこに児童は、「分かりやすいスタンプ」を押す。スタンプの種類を「順序」、「写真」、「数字」によって分けておくことにより、教師も児童もどの工夫について追究しているかが一目瞭然となり、その後の交流活動に生かすことができる。スタンプ入力という簡単な操作法を用いることでICTの操作に時間が取られたり思考が途切れたりすることがないようにする。</li> </ul>
	7 順序よく書かれているものを出し合い、日常生活へとつなげる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">&lt;深めの働きかけ&gt; 自分の生活の中で順序が大事なことはあるかな。</div> ・ ケーキを作るときに、卵を入れる順序が大事だって聞いたことがある。 ・ プラモデルを作る時に、順序を間違えたらうまく作れなかった。	
	8 学習を振り返る。 ・ 順序を間違えて書くと、おもちゃは完成しないことが分かりました。私の作るおもちゃも順序が大事なので順序を表す言葉を使って書きたいです。 ・ 写真があるとおもちゃが正しく作れることが分かりました。僕も1年生におもちゃの説明を書く時には文章だけではなく、絵を描きたいと思いました。	